

# 世界が 懸念 していること

2026年5月

# 目次

1

主なポイント

2

サマリー

3

国別スポットライト:  
ハンガリー

4

懸念スポットライト:  
汚職、経済的・  
政治的スキャンダル

5

世界の懸念:  
長期的トレンド

6

経済フォーカス

7

調査手法

# 世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

各国および各懸念事項ごとの調査結果の詳細については、[www.ipsos.com/ja-jp](http://www.ipsos.com/ja-jp)でもご覧いただけます。

詳細については、[Joseph.Nadler@ipsos.com](mailto:Joseph.Nadler@ipsos.com)までお問い合わせください。

# 主なポイント

## 1. インフレ懸念は依然として高水準にある

先月の注目点は、インフレがランキングの1位に返り咲いたことでした。イラン紛争が始まって4週間が経過し、これを主要な問題として挙げた人の割合は4ポイント上昇し、33%となりました。しかし、今月は30か国平均で32%となり、インフレへの懸念は安定しています。

とはいえ、北米における懸念は引き続き高まっています。米国とカナダではインフレが最大の懸念事項となっており、5月には前月比でそれぞれ5ポイント上昇しました(それぞれ42%、52%)。

この10年間は、インフレと新型コロナウイルス感染症(COVID-19)という2つの問題が支配的でした。2020年1月以来、インフレは29か月連続で最大の懸念事項となっており、新型コロナウイルスは18か月間1位を維持しました。

## 2. 失業への懸念

失業への懸念は、わずかではありますが、30か国全体で29%に上昇しました。インフレへの懸念と相まって、これは全般的な不安感を示している可能性があります。

カナダでは、失業を懸念する人の割合が前月比で8ポイント上昇し、今月、国別で2番目に大きな増加幅を記録して29%となりました。

雇用市場への懸念は、地球の反対側でも感じられています。アジア太平洋地域(APAC)では、タイで失業を挙げた人の割合が9ポイント上昇し、31%となりました。シンガポールでは、懸念の度合いが6ポイント上昇し、54%となりました。

## 3. 汚職への懸念は依然として続く

30か国における「汚職、経済的・政治的スキャンダル」を選択した人の割合は、わずかに増加し、平均27%となりました。

米国における汚職への懸念は、今月6ポイント上昇して37%となり、新たな節目に達しました。これは2025年5月時点より10ポイント高いだけでなく、過去10年間で最高水準となっています。

現在、民主党支持者(38%)と共和党支持者(34%)のほぼ同程度の割合が、これを最大の懸念事項と考えています。

現在、汚職が最大の懸念事項となっている国は3か国あります。インドネシア(65%)、マレーシア(51%)、タイ(50%)です。

## 国別の重要データ

# 37%

の米国人が、汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念しており、これは10年ぶりの高水準です。

# 52%

のカナダ人が、インフレを懸念していると回答しています。先月から5ポイント上昇しました。

# 62%

のハンガリー人が、国は正しい方向に向かっていると回答しています。これは過去10年以上で最高水準です。

# 58%

のイスラエル人が犯罪/暴力について懸念しており、先月から25ポイント上昇しました。

# 56%

のポーランド人が医療を懸念しており、前月比で10ポイント上昇しました。

# 29%

のブラジル人が、現在直面している主要な課題の一つとして税金を挙げています。

さらに詳しく知りたい  
ですか？

調査対象の全30か国ごとの  
個別レポートを作成しました。

こちらまでお問い合わせください。

[joseph.nadler@ipsos.com](mailto:joseph.nadler@ipsos.com)

# 世界が懸念していること 2026年5月

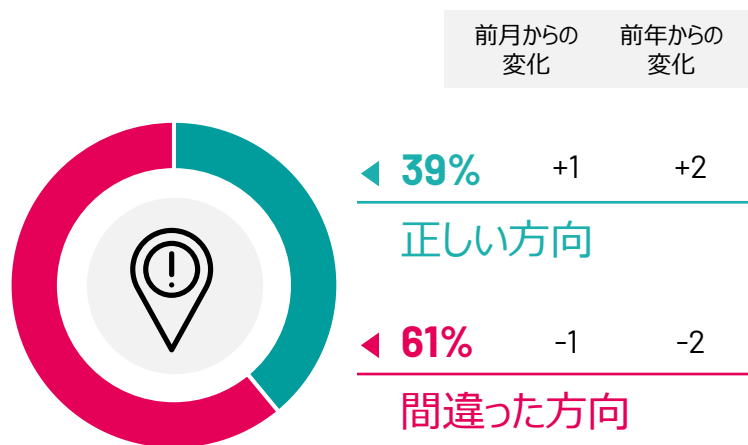
## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	前月からの 変化	前年からの 変化
インフレ	-1	-1
犯罪/暴力	=	-2
失業	+1	+2
貧困/社会的不平等	+1	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	+1	+1

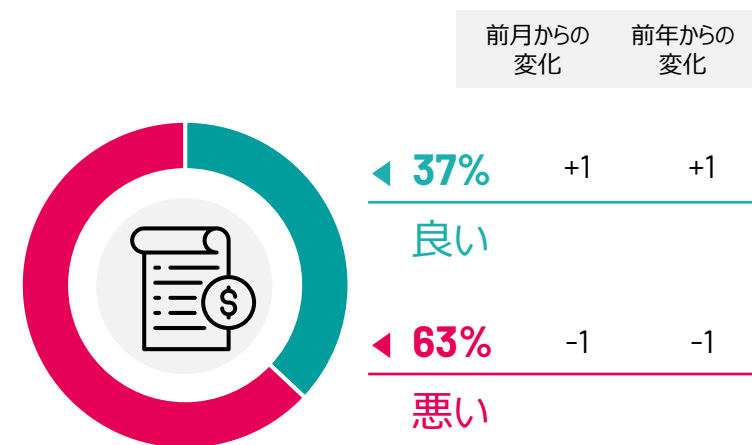
## 国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



## 経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



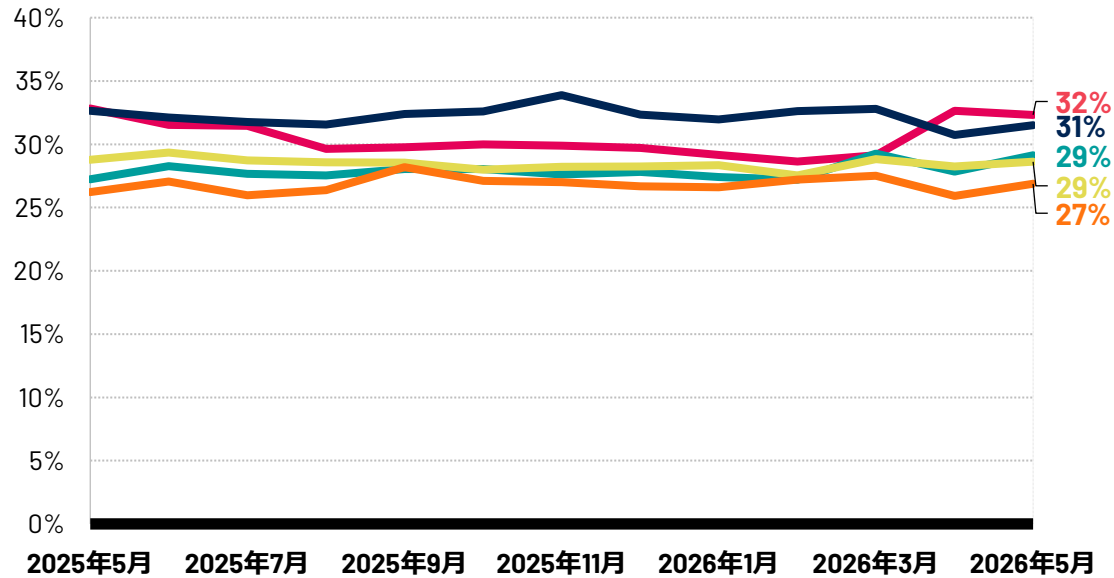
対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

# 世界が懸念していること 12か月間のトレンド

## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



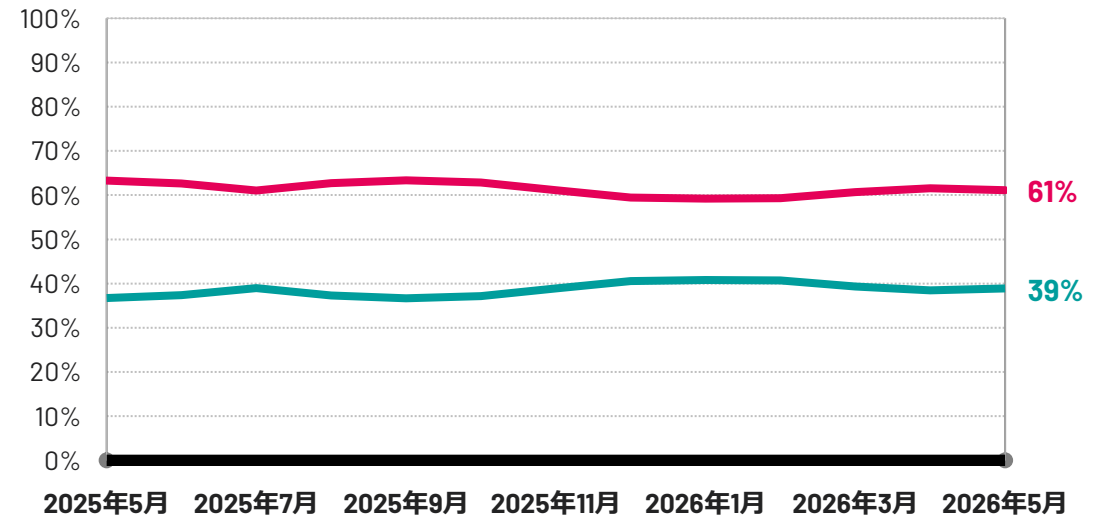
インフレ 犯罪 失業 不平等 汚職

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

## 国の状況

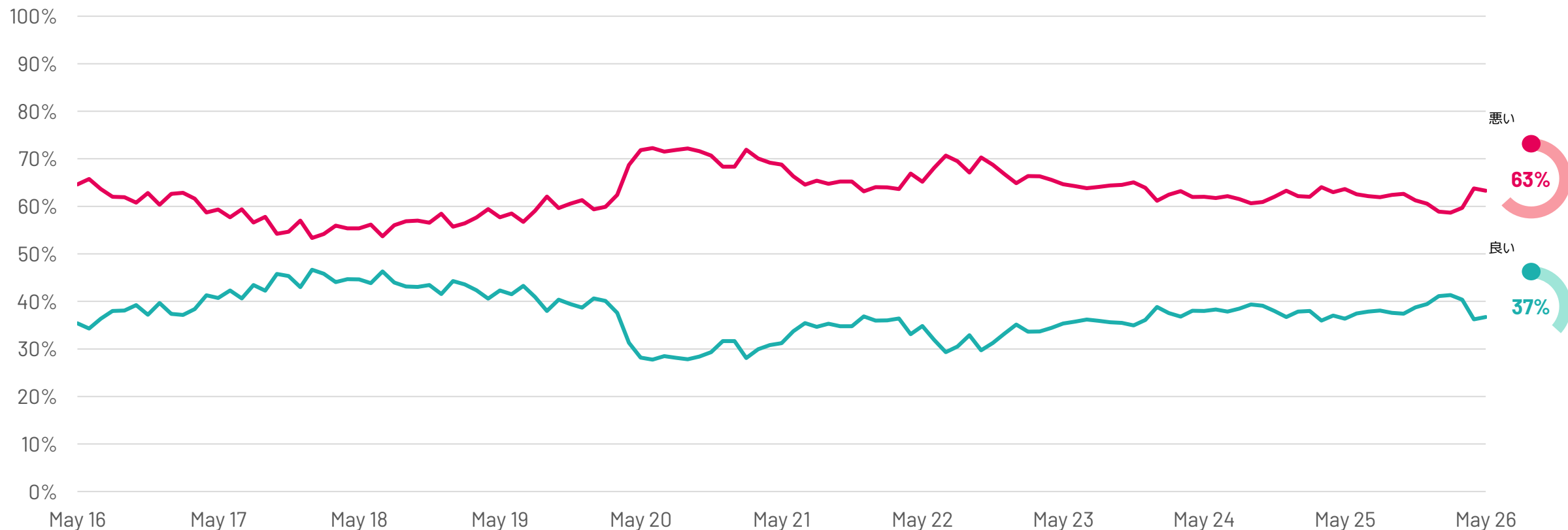
Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



正しい方向 間違った方向

# 世界経済の現状

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。  
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の合計割合)



対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウエブ: 2026年5月

# 国別スポットライト： ハンガリー

# ハンガリーサマリー: 2026年5月

## 最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

	前月からの 変化	前年からの 変化	
医療	67%	+5	+3
汚職、経済的・政治的スキャンダル	52%	=	+4
貧困/社会的不平等	34%	-4	-8
教育	27%	+9	+3
インフレ	27%	-9	-18

## 国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



## 経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



対象: 16~74歳のハンガリー人の代表的なサンプル。月間約500名

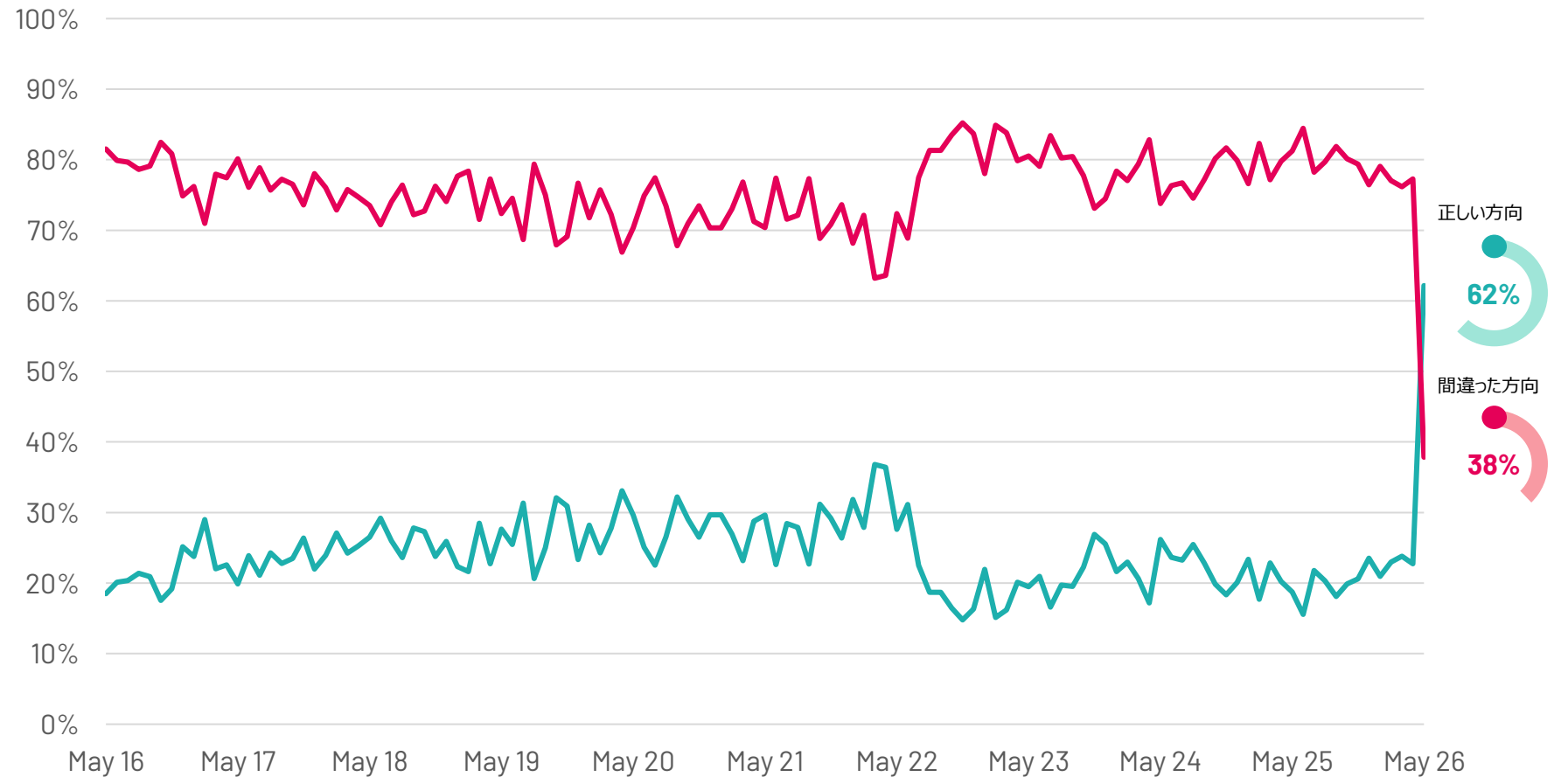
出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: ハンガリー | 今回の調査ウェーブ: 2026年5月

# ハンガリーの正しい方向/間違った方向

対象: 16~74歳のハンガリー人の代表的なサンプル。月間約500名

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: ハンガリー | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



# 国別スポットライト: ハンガリー

4月12日、[ハンガリーでは歴史的な選挙が行われ](#)、16年間政権を握っていたオルバーン・ヴィクトル首相が退陣し、マジャール・ペーテル新首相が選出されました。

選挙後のデータで最も顕著な変化は、「国は正しい方向に向かっている」と考える人の割合が増加したことです。選挙前に実施された先月の調査から39ポイント上昇し、62%となりました。これは過去10年以上で最高水準です。この傾向は、すべての年齢層、所得層、および人口統計学的グループに共通して見られます。

楽観的な見方が強まっているにもか

かわらず、ハンガリー国民は依然として特定の重要課題に注目しています。医療問題を挙げた割合は先月から5ポイント上昇して67%となり、2024年9月(68%)以来の最高値となりました。医療問題は33か月連続でハンガリーの最重要課題となっています。

# 62%

のハンガリー人が、国は「正しい方向に向かっている」と回答しており、これは過去10年以上で最高水準です。

対象: 16~74歳のハンガリー人の代表的なサンプル。月間約500名

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: ハンガリー | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

# 国別スポットライ ト: ハンガリー

対象: 16~74歳のハンガリー人の代表的なサンプル。月  
間約500名

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: ハンガリー | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

マジャール・ペーテル首相は、汚職  
一掃を公約に掲げて選挙戦を戦い  
ました。医療への懸念と並んで、人  
々が汚職、経済的・政治的スキャン  
ダルをかなり懸念している点は注  
目に値します。今月、ハンガリー人  
の半数以上(52%)が、これが直面し  
ている主要な課題の一つであると回  
答しており、先月と変わりありません。

また、ハンガリー人は自国の経済に  
関して最も悲観的な国民の一つで  
もあります。自国の経済が「良い」と  
信じているのはわずか4分の1(24%)  
で、30か国中25位となっています。  
とはいえ、経済に対する楽観的な  
兆しも見られ、今月のスコアは1年

前より6ポイント高くなっています。

次スライドには専門家の分析を掲  
載しています。

# 52%

のハンガリー人が、汚職、経  
済的・政治的スキャンダルを  
懸念しています。

# 国別スポットライ ト: ハンガリー

対象: 16~74歳のハンガリー人の代表的なサンプル。月  
間約500名

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: ハンガリー | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

ハンガリーで起きている状況を説明  
するため、イプソスハンガリーのカント  
リーマネージャーであるBalázs Feitel  
氏が、さらなる背景を次のように語り  
ました:

「当社の最新の調査では、2026年4月の  
総選挙を受けてハンガリーで起こっている  
歴史的なパラダイムシフトが捉えられていま  
す。この選挙において、国民は、汚職と公  
共サービスの資金不足に悩まされてきた16  
年間にわたる非自由主義的な政権を断  
固として拒否しました。

有権者は、新たに結成された野党に3分  
の2という圧倒的な過半数の議席を与え  
ることで、国の政治・経済の枠組みを根本  
的に再構築するという前例のない権限を  
付与しました。

この画期的な再編は、消費者および国民  
の感情に劇的かつ前例のない高まりをもた  
らし、長期的な国内の繁栄に対する根強  
い楽観を反映しています。

しかし、この初期の「ハネムーン期」が過ぎ  
去れば、新政権は政治的な好意を具体  
的な構造改革へと転換するよう、直ちに圧  
力に直面することになるでしょう。

この責任は、新首相だけでなく、特に保健  
相にも重くのしかかっています。同氏は、選  
挙の夜に踊った動画が話題となり、すでに  
有名人となっていますが、長きにわたり国  
民の最大の懸念事項であった、著しく放  
置されてきた医療制度を早急に再生させ  
なければなりません。

結局のところ、この新時代の長期的な安  
定は、政府が象徴的で活気あふれる勢い  
から、具体的かつ制度的な成果へと迅速

に移行できるかどうかにかかっています。」



Balázs Feitel,  
Country Manager,  
Ipsos in Hungary.  
[Balazs.Feitel@ipsos.com](mailto:Balazs.Feitel@ipsos.com)

# 懸念スポットライト： 汚職、経済的・政治的 スキャンダル



# 懸念スポット ライト: 汚職、 経済的・政治的 スキャンダル

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

30か国における汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念する割合は、先月からわずかに上昇し、27%となりました。これは現在、18項目からなるリストの中で5番目に深刻な問題となっています。

過去12か月間、16か国で懸念が一定程度高まっています。

当調査のリストでは、アジア太平洋地域の国々が上位にランクインする傾向が見られます。今月は、インドネシア(65%)、マレーシア(51%)、タイ(50%)のすべてが、汚職を最大の懸念事項として挙げています。インドネシアでは、前月比で7ポイントという最も急激な増加が見られました。

政治腐敗の問題が継続しているペルーの人々も、同様に懸念を抱いています。半数強(52%)が汚職を挙げました。これは21か月連続で、犯罪/暴力に次ぐ2番目に大きな懸念事項となっています。

しかし、世界の他の地域、特に米国においても、汚職への懸念が徐々に高まりつつあることが見て取れます。

次スライドをご覧ください。

# 27%

(30か国平均)が、汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念しています。

# 懸念スポット ライト: 汚職、 経済的・政治的 スキャンダル

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

2025年12月以来、懸念の割合は23%から今月37%へと上昇しました。過去1か月だけで6ポイントの増加が見られました。参考までに、2015年/2016年の同時期には、懸念は19%から20%へとわずかに上昇したに過ぎませんでした。現在の数値は、米国において過去10年以上で最高となっています。

ドイツにおいても、程度は小さいものの、懸念を表明する人の割合は上昇しています。先月から4ポイント上昇し、13%となりました。他国と比較すると比較的低い水準ではありますが、2023年6月(当時も13%)以来、同国としては最高値となっています。

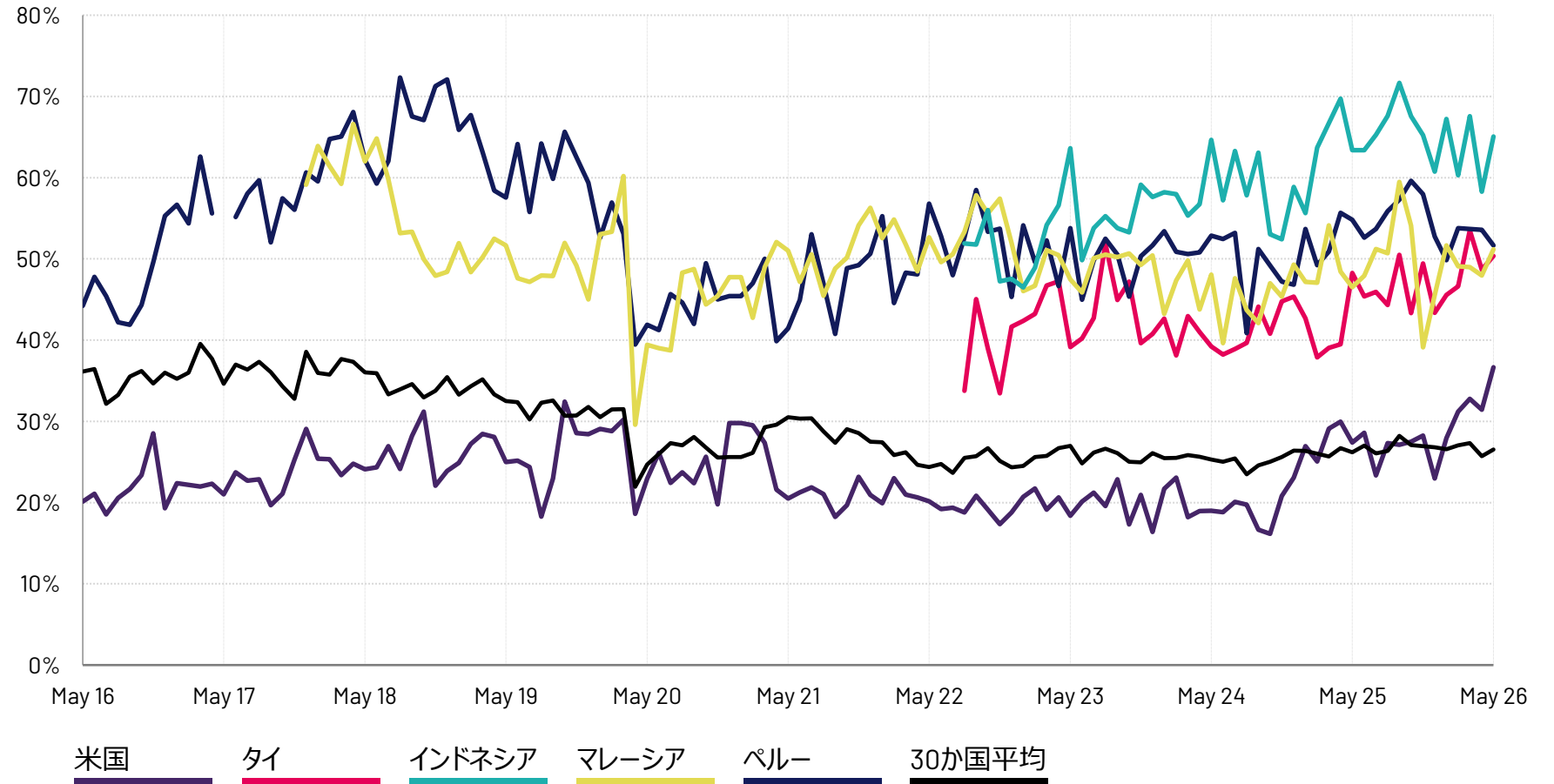
汚職への懸念は、その他の上位5つの懸念事項と相まって、不安の高まり、そしておそらくは将来に対する楽観的な見通しの欠如を浮き彫りにしています。

# 37%

の米国人が汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念しており、2025年12月時点から23%増加しています。

# 懸念スポット ライト: 汚職、 経済的・政治的 スキャンダル

Q:次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。  
「汚職、経済的・政治的スキャンダル」を懸念していると回答した人の割合



対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 各国が進む方向

全対象国

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

30か国において、自国が「正しい方向に向かっている」と考える人の割合は、現在39%となっています。

[4月12日に行われた歴史的な選挙](#)の結果、16年間にわたり政権を握っていたハンガリーのオルバーン・ヴィクトル首相が退陣しました。先月のデータ収集後に選挙が行われたため、今月になって初めて、この影響がデータに表れています。

今月、楽観的な見方を示すハンガリー人の割合は、4月から39ポイント大幅に上昇し、62%が「国は正しい方向に向かっている」と回答しました。これは12か月前より43ポイント高いだけでなく、過去10年以上で最高

水準となっています。ハンガリーは、先月25位だったランキングで、今月は4位に浮上しました。

ハンガリーに関する詳細は、[今月のハンガリー特集をご覧ください](#)。

# 39%

(30か国平均)が、自国が「正しい方向に向かっている」と考えています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向  
に向かっていると思いますか。(2026年5月)

国	間違った方向	正しい方向	前月からの 変化	前年からの 変化
世界	61%	39%	+1	+2
シンガポール	19%	81%	+3	+4
インド	27%	73%	=	NA
マレーシア	30%	70%	-1	+1
ハンガリー	38%	62%	+39	+43
韓国	39%	61%	-2	+46
インドネシア	42%	58%	+1	-9
タイ	53%	47%	+3	+2
カナダ	54%	46%	+4	+2
チリ	58%	42%	-2	+13
アルゼンチン	58%	42%	-4	-14
オーストラリア	59%	41%	+3	-3
ポーランド	60%	40%	+1	=
ブラジル	61%	39%	+7	+2
コロンビア	63%	37%	-11	+8
日本	63%	37%	-2	+18
アイルランド	64%	36%	-2	-4
メキシコ	65%	35%	=	-10
イスラエル	66%	34%	-11	+6
スペイン	67%	33%	-4	-6
米国	70%	30%	-5	-12
スウェーデン	70%	30%	=	+4
南アフリカ	71%	29%	=	-5
ベルギー	73%	27%	-1	-6
トルコ	74%	26%	=	=
イタリア	75%	25%	=	-4
英国	77%	23%	+1	-9
オランダ	78%	22%	-6	+1
ドイツ	86%	14%	-4	-13
ペルー	88%	12%	+1	+3
フランス	88%	12%	+3	-6

間違った方向      正しい方向



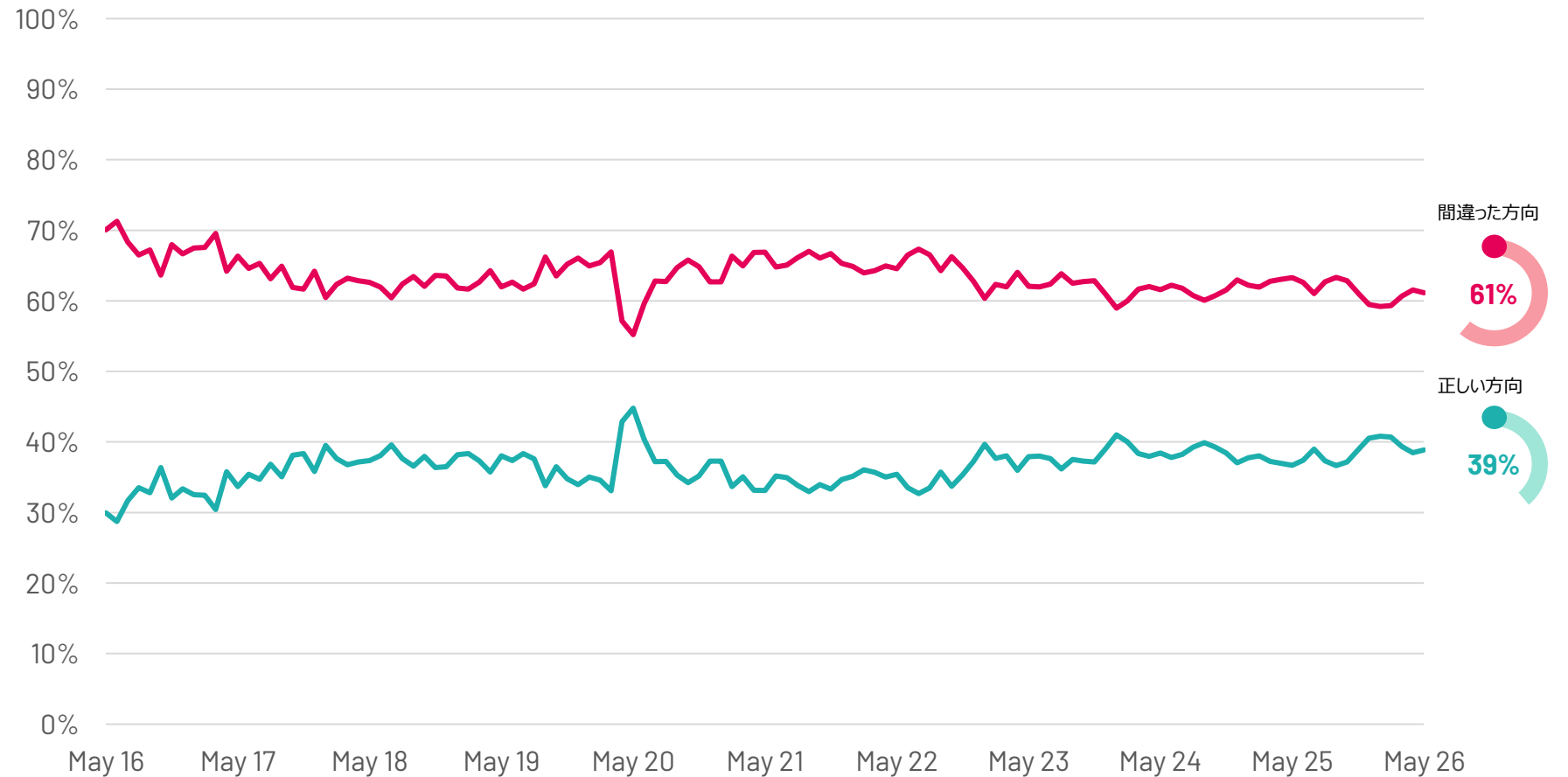
# 世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



# 世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

# 世界の懸念事項: 全リスト

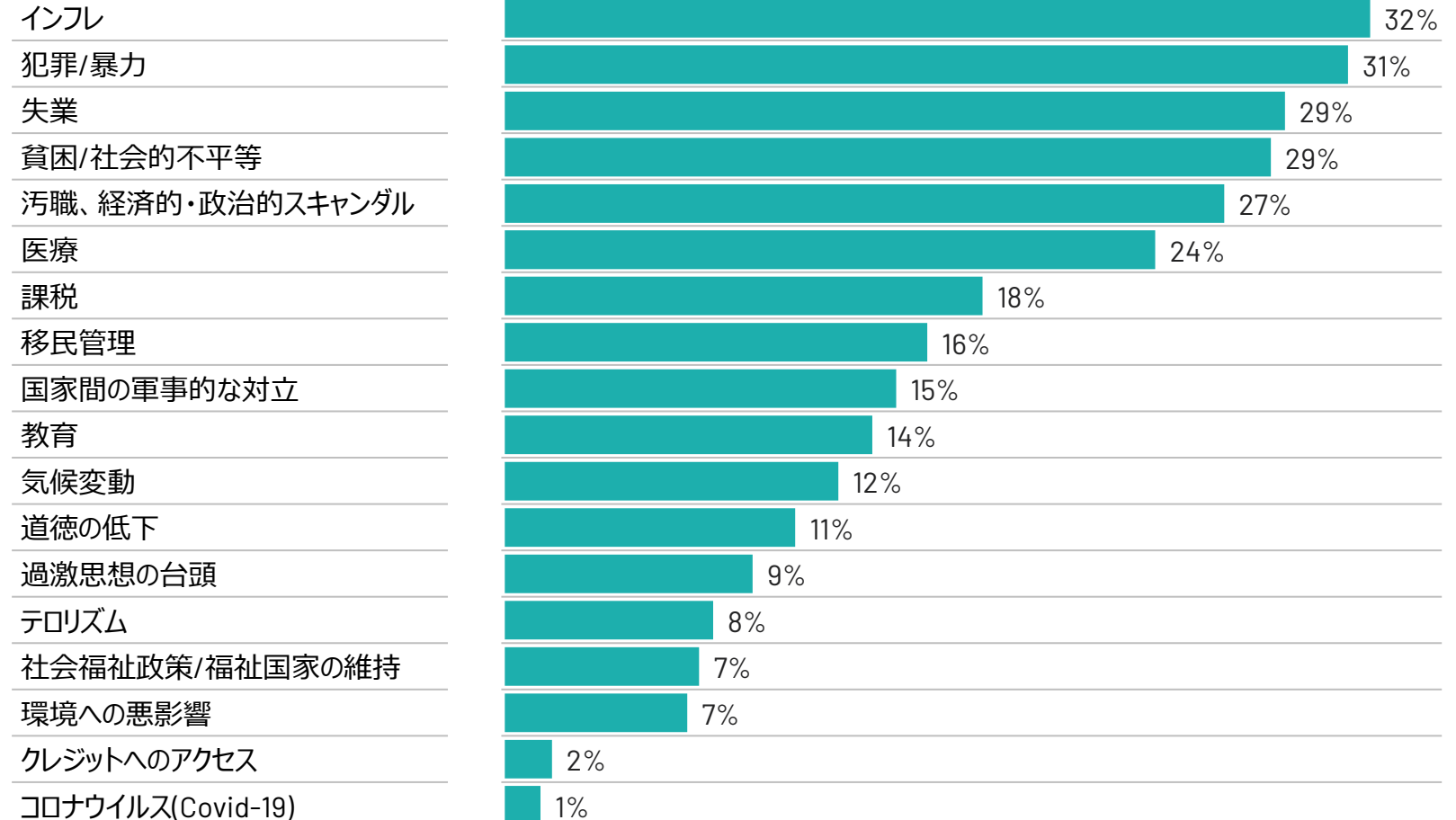
対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

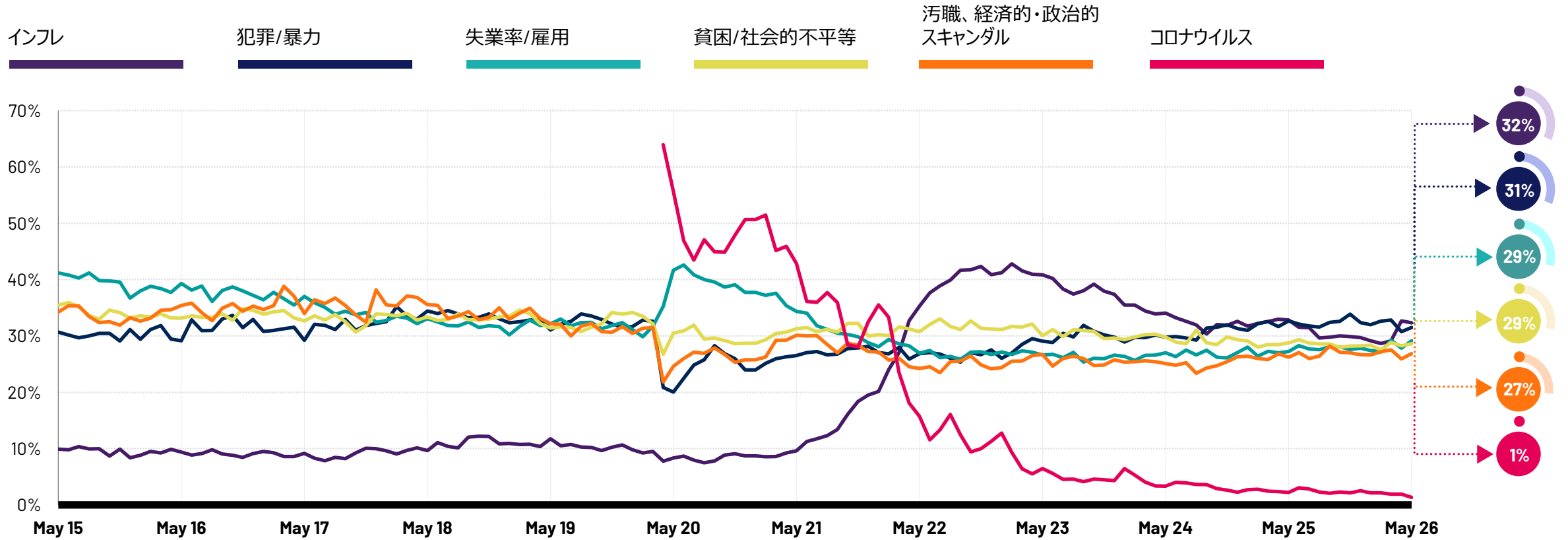
## 懸念事項

## 2026年5月の回答率(世界各国平均)



# 世界の懸念: 長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界平均値です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

# 1. インフレ

インフレへの懸念は先月から落ち着きを見せているようです。30か国全体で、インフレを挙げた割合は4月からわずかに低下し、32%となりました。

しかし、北米では物価上昇への懸念が高まり続けています。カナダで懸念を表明する人の割合は5ポイント上昇し、半数強(52%)となりました。とはいえ、カナダ人にとってこれは全く前例のないことではなく、2025年4月には懸念が53%に達していました。

同様に、米国でも懸念度は5ポイント上昇し、43%となりました。これは、今年2月に懸念度が過去最低の32%まで低下していた後のことです。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 32%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

## インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(58%)
- 米国(43%)
- カナダ(52%)
- フランス(35%)
- オーストラリア(49%)
- ドイツ(34%)
- イタリア(34%)
- トルコ(49%)
- 日本(34%)

# 1. インフレ

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	インフレを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	32%	-1	-1
シンガポール	58%	=	-4
カナダ	52%	+5	+2
オーストラリア	49%	=	=
トルコ	49%	-1	-5
米国	43%	+5	+1
韓国	41%	-1	+7
アイルランド	39%	+3	+4
マレーシア	38%	+2	+4
アルゼンチン	38%	+2	-2
フランス	35%	-3	+2
日本	34%	-2	+2
ドイツ	34%	+3	+3
イタリア	34%	+2	+7
チリ	32%	-10	+7
メキシコ	31%	+2	=
英国	30%	-5	-6
ベルギー	30%	=	+4
ポーランド	30%	-4	-5
スペイン	29%	-4	+3
タイ	28%	+1	-5
ハンガリー	27%	-9	-18
インドネシア	27%	-1	+1
オランダ	26%	+5	+2
ブラジル	25%	+2	-8
南アフリカ	23%	+2	+5
インド	21%	-3	NA
スウェーデン	18%	+1	-1
コロンビア	18%	+1	+1
ペルー	16%	-2	+3
イスラエル	13%	+1	-6

## 2. 犯罪/暴力

今月も、30か国における犯罪/暴力に言及した割合は31%にとどまっています。

ラテンアメリカ諸国では、アルゼンチン(36%)を除くすべての国で、これが最大の懸念事項となっています。

その他の地域では、犯罪を自国の主要な課題の一つとして挙げたイスラエル人の割合が、先月から劇的に上昇しました。25ポイント上昇し、現在では58%がこれを選択しており、同国における最大の懸念事項となっています。これは過去10年近くで最高水準であり、2022年12月の59%という数値に次ぐものです。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

### 犯罪/暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー(66%)
- スウェーデン(52%)
- イスラエル(58%)
- ブラジル(48%)
- メキシコ(57%)
- コロンビア(42%)
- チリ(56%)

# 31%

が、**犯罪/暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

## 2. 犯罪/暴力

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	犯罪/暴力を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	31%	=	-2
ペルー	66%	-4	-7
イスラエル	58%	+25	+26
メキシコ	57%	-3	-4
チリ	56%	+7	-8
南アフリカ	53%	-1	+1
スウェーデン	52%	-7	-14
ブラジル	48%	+1	+7
コロンビア	42%	-2	=
トルコ	39%	+1	+10
アルゼンチン	36%	-1	-8
フランス	35%	+2	-7
イタリア	34%	-1	+3
オーストラリア	33%	+2	=
マレーシア	29%	=	+3
ドイツ	27%	+3	-2
インド	26%	=	NA
ベルギー	25%	=	-8
オランダ	25%	+3	-1
英国	22%	=	+1
アイルランド	22%	-4	-8
カナダ	22%	+3	-2
スペイン	21%	+2	+3
米国	21%	=	-2
タイ	19%	-5	-7
日本	19%	+4	=
韓国	18%	=	-1
インドネシア	17%	+1	-5
ポーランド	9%	=	-4
ハンガリー	8%	-1	-1
シンガポール	6%	-2	=

### 3. 失業率/雇用

30か国全体で、失業を挙げた割合は現在29%となっています。30か国のうち16か国で、今月、懸念レベルが何らかの形で上昇しました。

アルゼンチンでは、懸念レベルは先月から変化がなく、現在57%となっています。これは昨年同時期より11ポイント高い数値ですが、懸念はすでにピークを過ぎた可能性があります。2026年3月には、雇用への懸念を表明する割合が60%へと急上昇し、過去10年間で最高を記録しました。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 29%

が、**失業率/雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

#### 失業率/雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(64%)
- アルゼンチン(57%)
- インド(46%)
- 韓国(44%)

# 3. 失業率/雇用

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	失業率/雇用を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	29%	+1	+2
南アフリカ	64%	-4	=
アルゼンチン	57%	=	+11
シンガポール	54%	+6	+7
インドネシア	51%	=	=
インド	46%	+3	NA
韓国	44%	+1	-1
コロンビア	39%	=	-3
チリ	38%	+3	+2
メキシコ	35%	+3	+3
ペルー	34%	+5	-1
スペイン	31%	+5	-1
タイ	31%	+9	+7
マレーシア	31%	+4	-1
イタリア	30%	-1	-2
カナダ	29%	+8	+5
スウェーデン	27%	+6	+2
ポーランド	27%	+4	+9
トルコ	27%	=	+4
ベルギー	23%	+2	+3
オーストラリア	19%	-2	-1
米国	19%	+2	+2
英国	17%	-2	+4
アイルランド	17%	-2	-3
ブラジル	16%	-1	-2
日本	15%	+1	-3
フランス	14%	+1	+2
ハンガリー	14%	-4	+2
ドイツ	14%	=	+5
イスラエル	8%	-3	-2
オランダ	6%	=	+1



## 4. 貧困/社会的 不平等

30か国において、貧困/社会的  
不平等を挙げた人の割合は29%です。

チリにおいて不平等を挙げた人の割  
合は、先月から3ポイント上昇し、  
現在10人に3人(30%)となっていま  
す。これは昨年同時期より5ポイント  
高く、2023年9月(31%)以来の最高  
値です。

**対象:** 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

**出典:** Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

**貧困/社会的不平等が最大の懸  
念事項となっている国:**

なし

# 29%

が、**貧困/社会的不平等**は  
自国が直面している重要な  
問題の一つだと答えています。

## 4. 貧困/社会的 不平等

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	貧困/社会的不平等を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	29%	+1	=
インドネシア	46%	+1	=
アルゼンチン	44%	+3	-2
タイ	42%	+1	+3
トルコ	37%	+2	+1
ブラジル	36%	=	+3
ハンガリー	34%	-4	-8
ペルー	33%	=	+8
ドイツ	32%	-4	+1
日本	31%	-3	-6
南アフリカ	30%	+1	+1
チリ	30%	+3	+5
フランス	28%	+6	+7
メキシコ	28%	-2	-1
コロンビア	28%	-2	-6
オランダ	28%	-2	-7
韓国	28%	+2	+2
英国	27%	+6	=
ベルギー	26%	=	-4
アイルランド	26%	-6	-2
イタリア	26%	=	-1
マレーシア	25%	+4	=
オーストラリア	25%	=	=
スペイン	24%	-1	=
インド	24%	+4	NA
カナダ	23%	-1	-1
スウェーデン	22%	-2	-1
イスラエル	21%	+1	-1
米国	18%	+3	+1
ポーランド	17%	+1	-1
シンガポール	15%	-4	-5

## 5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

現在、30か国で27%が汚職、経済的・政治的スキャンダルを挙げています。

米国では、懸念度が6ポイント上昇して37%となり、汚職を挙げた割合が新たな節目に達しました。これは2025年5月時点より10ポイント高いだけでなく、過去10年間で最高水準となっています。これは、超党派で合意が見られる数少ない懸念事項の一つであるようです。民主党支持者の38%が懸念を表明しており、共和党支持者の34%とほぼ同水準です。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

### 汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- インドネシア(65%)
- マレーシア(51%)
- タイ(50%)

# 27%

が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 5. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	汚職、経済的・政治的スキャンダルを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	27%	+1	+1
インドネシア	65%	+7	+2
ハンガリー	52%	=	+4
ペルー	52%	-2	-3
マレーシア	51%	+3	+4
南アフリカ	51%	+1	+8
タイ	50%	+1	+2
米国	37%	+6	+10
ブラジル	37%	-2	=
コロンビア	35%	+1	-2
メキシコ	32%	+2	+6
スペイン	31%	+2	+4
インド	30%	+1	NA
アルゼンチン	28%	=	+6
イスラエル	27%	+1	-3
トルコ	26%	+2	-5
韓国	26%	-1	-18
ポーランド	25%	+3	+1
チリ	25%	-4	-4
ベルギー	15%	+3	+2
ドイツ	13%	+4	+5
英国	12%	+3	+1
日本	11%	=	-7
アイルランド	11%	+1	=
オーストラリア	11%	-1	-1
イタリア	11%	+1	+1
カナダ	10%	-3	-1
フランス	10%	-1	+2
スウェーデン	8%	=	+1
シンガポール	7%	+2	-1
オランダ	6%	-2	-4

## 6. 医療

今月、30か国における医療を選択した割合は24%に達しました。

ポーランドでは、[がん患者のための募金活動として行われたチャリティライブ配信](#)が、目標額11万8,000ユーロを大幅に上回る5,900万ユーロを集め、大きな話題となりました。それ以来、ポーランドで医療を挙げた人の割合は前月の56%から10ポイント上昇し、2020年2月(57%)以来の最高水準を記録しています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

### 医療が最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー(67%)
- ポーランド(56%)
- アイルランド(41%)
- 英国(36%)
- スペイン(35%)

# 24%

が、**医療**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 6. 医療

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	医療を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	24%	+1	=
ハンガリー	67%	+5	+3
ポーランド	56%	+10	+18
アイルランド	41%	+5	-2
カナダ	40%	-1	-2
英国	36%	+6	-6
コロンビア	36%	-2	+7
スペイン	35%	=	+4
ブラジル	35%	=	-1
イタリア	34%	+3	=
シンガポール	32%	-1	+2
オランダ	27%	+1	-2
フランス	27%	=	+2
スウェーデン	26%	+3	+7
ドイツ	25%	+2	+7
米国	25%	+2	+4
オーストラリア	23%	+2	-11
インド	20%	+2	NA
メキシコ	19%	-2	-1
ベルギー	19%	=	=
チリ	15%	=	-1
ペルー	14%	-7	-2
日本	13%	+1	+1
アルゼンチン	13%	+1	-1
南アフリカ	11%	-3	-7
マレーシア	11%	+2	=
タイ	10%	+3	+4
イスラエル	7%	-4	-2
インドネシア	5%	=	-2
トルコ	5%	=	+1
韓国	4%	-1	-8

## 7. 課税

今月も、30か国における税金を挙げた割合は18%で横ばいとなっています。

オーストラリアでは、税金への懸念を挙げた人の割合が前月から4ポイント上昇し、5人に1人(20%)となりました。この上昇にもかかわらず、この水準は同国としては比較的標準的なものであり、2025年5月の数値は19%を記録しています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 18%

が、**課税**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

**課税が最大の懸念事項となっている国:**

- ベルギー(37%)

# 7. 課税

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	課税を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	18%	=	=
ベルギー	37%	-1	+5
日本	31%	+3	-6
ブラジル	29%	+3	+2
イタリア	29%	+1	=
フランス	25%	=	+4
カナダ	25%	+1	-4
ドイツ	20%	=	+5
オーストラリア	20%	+4	+1
メキシコ	19%	=	+4
韓国	19%	+3	+7
インド	19%	+2	NA
スペイン	19%	-1	+1
英国	18%	=	-3
米国	18%	+2	-2
トルコ	18%	-3	+1
オランダ	17%	-2	=
シンガポール	17%	-1	-7
ポーランド	16%	+1	-2
アイルランド	16%	-1	+2
イスラエル	16%	-6	-8
インドネシア	15%	+1	+1
アルゼンチン	15%	-3	-2
マレーシア	14%	+3	-3
タイ	14%	-1	+1
南アフリカ	12%	+3	+1
スウェーデン	10%	-4	-1
コロンビア	9%	-3	-5
ハンガリー	8%	+2	+1
チリ	7%	-3	-1
ペルー	5%	+2	+2

## 8. 移民管理

30か国において、16%の人が移民管理を挙げました。前月からの変化はありません。

米国では、懸念の度合いが前月比3ポイント低下し、懸念を表明する人は17%となりました。懸念は2026年2月に26%に達して以来、低下傾向にあります。現在は前年同期より7ポイント低く、2023年7月(当時も17%)以来の最低水準となっています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 16%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

**移民管理が最大の懸念事項となっている国:**

- オランダ(34%)

# 8. 移民管理

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	移民管理を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	16%	=	-1
英国	35%	-6	-1
オランダ	34%	+1	+7
アイルランド	32%	-1	-5
スペイン	27%	+4	+5
カナダ	27%	=	+4
ドイツ	27%	-2	-11
フランス	25%	+1	=
オーストラリア	24%	+1	+3
ベルギー	22%	=	-3
イタリア	21%	+2	+3
チリ	21%	-2	-22
日本	21%	-1	+6
スウェーデン	20%	+1	+3
南アフリカ	17%	+4	+3
米国	17%	-3	-7
トルコ	15%	=	-7
シンガポール	14%	=	=
ポーランド	13%	-4	-7
マレーシア	10%	+1	-3
ペルー	10%	-3	-2
ハンガリー	7%	+2	+3
インド	7%	-1	NA
タイ	6%	-1	-2
メキシコ	5%	+1	-2
コロンビア	5%	-2	-2
イスラエル	4%	-3	-1
アルゼンチン	4%	=	+1
韓国	2%	-1	+1
ブラジル	1%	=	-1
インドネシア	0%	-1	-1

## 9. 国家間の軍事的な対立

30か国における国家間の軍事的な対立への懸念を示す割合は、先月から4ポイント低下し、15%となりました。しかし、これは依然として昨年同時期より5ポイント高い水準です。

先月の急増後、懸念は沈静化した模様で、30か国のうち26か国で懸念度が何らかの形で低下しています。

ポーランドでは懸念が最も急激に低下し、今月だけで13ポイント減少し、自国が直面する主要な課題の一つであると答えた人は34%となりました。とはいえ、依然として懸念度ランキングのトップに位置しています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 15%

が、**国家間の軍事的な対立**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

**国家間の軍事的な対立が最大の懸念事項となっている国:**

なし

## 9. 国家間の軍事的な対立

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	国家間の軍事的な対立を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	15%	-4	+5
ポーランド	34%	-13	-2
イスラエル	34%	-2	+1
オランダ	27%	-3	+5
ドイツ	27%	-4	+3
米国	25%	-2	+15
日本	23%	-6	+12
イタリア	22%	-5	+10
英国	20%	-11	+6
フランス	20%	-5	+6
オーストラリア	20%	-3	+11
韓国	20%	-9	+11
タイ	19%	-8	+12
スウェーデン	17%	-3	+2
シンガポール	17%	=	+8
ベルギー	16%	-7	+2
アイルランド	14%	-4	+6
スペイン	14%	-7	-1
カナダ	10%	-5	+5
マレーシア	8%	-10	+3
ハンガリー	7%	-4	=
インドネシア	6%	-5	+3
インド	6%	-6	NA
コロンビア	6%	=	-1
メキシコ	5%	-4	+1
南アフリカ	5%	+1	+4
アルゼンチン	4%	-4	+2
ブラジル	3%	-3	+1
チリ	3%	=	+1
トルコ	3%	-1	+1
ペルー	2%	-2	=

## 10. 教育

30か国における教育を挙げた人の割合は、先月からわずかに上昇し、14%となりました。

ハンガリーでは、教育に対する懸念の度合いが4月から9ポイント上昇し、懸念を表明した人の割合が4分の1強(27%)となりました。これは昨年同時期より3ポイント高く、2024年10月(28%)以来、同国で最も高い数値となっています。

同様に、イスラエルでも教育を選択した割合は3ポイント上昇し、27%となりました。これは同国にとって過去4年ぶりの高水準であり、2022年9月にも27%を記録しています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

教育が最大の懸念事項となっている国:  
なし

# 14%

が、**教育**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

# 10. 教育

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	教育を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	14%	+2	+1
アルゼンチン	30%	+3	+3
ハンガリー	27%	+9	+3
イスラエル	27%	+3	+5
インド	25%	+5	NA
トルコ	23%	+3	+2
ペルー	23%	+4	+6
ブラジル	22%	+2	+1
チリ	21%	+4	+5
メキシコ	17%	+1	-2
インドネシア	17%	+3	+2
ベルギー	17%	+5	+3
フランス	15%	+2	+4
コロンビア	13%	-5	=
スペイン	12%	=	-2
南アフリカ	10%	-2	-4
マレーシア	9%	=	-5
オランダ	9%	=	-4
スウェーデン	9%	+2	+2
米国	8%	+1	-5
イタリア	8%	+1	-1
英国	8%	+2	+1
カナダ	8%	-3	-2
アイルランド	7%	=	=
オーストラリア	7%	=	-3
ポーランド	7%	-2	=
シンガポール	7%	+2	=
韓国	7%	+1	+2
ドイツ	7%	-3	-2
タイ	6%	=	-3
日本	4%	-1	-1

# 11. 気候変動

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	気候変動を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	12%	-1	-2
シンガポール	26%	+1	+5
日本	24%	+1	+1
インド	22%	+2	NA
オランダ	22%	+4	=
タイ	19%	+6	-1
ドイツ	17%	+1	-6
スウェーデン	17%	+2	-2
オーストラリア	16%	-2	-4
韓国	16%	+1	-2
カナダ	15%	-1	-1
イタリア	15%	+2	-3
フランス	14%	=	-5
アイルランド	13%	-3	-2
ポーランド	13%	+1	-1
メキシコ	12%	+1	=
マレーシア	12%	-4	+4
英国	12%	-2	-7
ベルギー	12%	=	-1
スペイン	11%	=	-7
インドネシア	11%	-3	+2
ブラジル	9%	-1	-1
米国	8%	-4	-4
トルコ	8%	=	-1
南アフリカ	7%	=	-1
コロンビア	6%	-4	=
ハンガリー	6%	+1	+3
チリ	4%	+1	-1
アルゼンチン	3%	=	-3
ペルー	3%	-1	-3
イスラエル	2%	-2	+1

# 12. 道徳の低下

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	道徳の低下を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	11%	+1	=
オランダ	20%	=	+3
韓国	19%	+8	+3
日本	18%	+6	+4
イスラエル	18%	+3	+4
米国	17%	-1	+1
ハンガリー	16%	+3	+1
ドイツ	13%	+2	+3
マレーシア	13%	-4	-3
トルコ	13%	+1	=
タイ	13%	+1	=
英国	13%	+2	=
ポーランド	11%	=	-4
フランス	11%	-2	-4
ベルギー	10%	+1	=
シンガポール	10%	+2	-2
アイルランド	10%	+3	+3
スウェーデン	9%	-1	=
オーストラリア	9%	+1	=
インドネシア	9%	=	-4
イタリア	9%	=	-2
アルゼンチン	8%	+2	-4
メキシコ	8%	+2	+1
ペルー	8%	+1	+1
スペイン	8%	+2	=
カナダ	7%	=	-1
コロンビア	6%	+1	=
インド	6%	=	NA
南アフリカ	5%	+2	=
チリ	5%	+1	=
ブラジル	4%	-1	=

# 13. 過激思想の台頭

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	過激思想の台頭を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	9%	-1	-1
オランダ	20%	=	+3
イスラエル	19%	-2	=
英国	17%	+3	+8
スウェーデン	17%	+4	+3
スペイン	16%	+2	+1
ドイツ	16%	-2	-3
フランス	15%	-3	-3
アイルランド	15%	+4	-3
米国	14%	-4	-6
オーストラリア	13%	-1	+3
ベルギー	13%	=	-2
ポーランド	12%	-5	=
カナダ	9%	=	=
韓国	8%	-1	-7
マレーシア	8%	-4	-3
ブラジル	7%	-2	+1
インド	7%	=	NA
チリ	7%	=	+2
イタリア	6%	-1	-1
日本	5%	=	+1
シンガポール	5%	+1	=
トルコ	5%	=	=
ペルー	5%	+4	+3
ハンガリー	4%	-3	=
コロンビア	4%	-1	-1
タイ	2%	-2	-2
アルゼンチン	2%	-1	-2
インドネシア	2%	-1	-1
メキシコ	2%	-2	-1
南アフリカ	1%	+1	-1

# 14. テロリズム

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	テロリズムを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	8%	=	-1
イスラエル	33%	-5	-14
コロンビア	32%	+16	+5
インド	16%	-2	NA
ペルー	16%	+6	+2
トルコ	12%	=	=
マレーシア	11%	+3	=
メキシコ	10%	+2	+2
スウェーデン	10%	-1	=
米国	8%	-6	-1
オーストラリア	8%	-1	+5
ベルギー	7%	-4	=
英国	7%	-1	+1
ドイツ	7%	=	-4
フランス	6%	-2	-6
ポーランド	6%	+1	-1
タイ	5%	-2	-3
チリ	5%	=	-2
シンガポール	5%	-2	-1
オランダ	4%	-3	-2
イタリア	4%	=	-1
ブラジル	4%	+2	+2
アイルランド	3%	-2	-1
スペイン	3%	-1	-1
南アフリカ	3%	+2	=
カナダ	3%	=	+1
インドネシア	3%	-2	-2
日本	2%	=	=
アルゼンチン	1%	-3	-2
韓国	1%	-2	-1
ハンガリー	0%	-1	-1

# 15. 社会福祉政策 /福祉国家の維持

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国

社会福祉政策/福祉国家の維持を懸念している人の割合

国	社会福祉政策/福祉国家の維持を懸念している人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	7%	=	=
チリ	20%	+6	+16
スウェーデン	17%	-2	=
日本	16%	-1	=
韓国	14%	=	-2
インドネシア	12%	+2	+4
オランダ	11%	+1	+1
英国	10%	+4	+1
タイ	10%	-2	=
スペイン	8%	=	-2
ドイツ	8%	=	+1
ベルギー	7%	-1	-2
アイルランド	7%	+2	+1
イタリア	7%	-1	-5
米国	6%	+1	-2
ポーランド	6%	+1	+2
オーストラリア	6%	+1	-1
ハンガリー	6%	-1	+2
インド	5%	-1	NA
フランス	5%	+2	=
シンガポール	5%	+1	=
コロンビア	4%	-1	+2
メキシコ	4%	-1	-3
マレーシア	4%	-1	-2
カナダ	4%	-1	-2
アルゼンチン	4%	+2	=
ブラジル	4%	+1	+1
ペルー	3%	+1	+2
トルコ	2%	=	=
イスラエル	2%	-2	=
南アフリカ	1%	=	-2

# 16. 環境への悪影響

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	環境への悪影響を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	7%	=	=
オランダ	13%	+1	+2
韓国	11%	+2	+4
インド	10%	=	NA
スウェーデン	10%	-2	-1
タイ	10%	+4	-1
ブラジル	10%	-1	=
チリ	9%	-1	+5
マレーシア	9%	-1	+1
メキシコ	9%	+1	-3
日本	8%	+2	=
フランス	7%	-1	-2
ペルー	7%	-1	=
コロンビア	7%	+2	+3
英国	7%	=	+1
米国	7%	=	+1
ベルギー	6%	=	-2
オーストラリア	6%	-1	-2
インドネシア	6%	-1	=
アイルランド	6%	+2	=
シンガポール	6%	+1	=
ポーランド	5%	-1	-4
カナダ	5%	-2	=
ドイツ	5%	-2	-4
トルコ	5%	+1	+2
イタリア	5%	+1	-4
ハンガリー	4%	=	+1
イスラエル	4%	=	-1
スペイン	3%	-2	-4
南アフリカ	2%	=	-3
アルゼンチン	2%	-2	-1

# 17. クレジットへのアクセス

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	クレジットへのアクセスを懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	2%	=	=
アルゼンチン	5%	=	+2
アイルランド	4%	+1	+1
ポーランド	3%	=	=
マレーシア	3%	+1	=
コロンビア	3%	=	+2
インド	2%	=	NA
タイ	2%	+1	-2
ベルギー	2%	=	=
ブラジル	2%	+1	=
トルコ	2%	-1	=
シンガポール	2%	-1	=
韓国	2%	=	-2
ハンガリー	2%	=	+1
南アフリカ	2%	+1	+1
カナダ	2%	+1	-1
英国	1%	=	-1
イタリア	1%	=	=
オーストラリア	1%	=	-1
スペイン	1%	-1	=
フランス	1%	=	-1
イスラエル	1%	-1	=
スウェーデン	1%	+1	=
米国	1%	=	=
チリ	1%	-1	=
日本	1%	-1	=
インドネシア	1%	=	=
メキシコ	1%	=	=
ドイツ	1%	=	=
ペルー	0%	-1	-1
オランダ	0%	-1	-1

# 18. コロナウイルス (Covid-19)

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

国	コロナウイルス(Covid-19)を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	1%	-1	-1
マレーシア	4%	-1	-3
シンガポール	3%	=	=
トルコ	3%	=	-2
インドネシア	2%	-1	-1
インド	2%	-2	NA
タイ	2%	-5	-4
日本	2%	=	-2
アイルランド	2%	-1	=
ポーランド	2%	+1	=
ベルギー	2%	=	=
韓国	2%	-1	-1
オーストラリア	2%	=	=
ハンガリー	1%	-1	=
メキシコ	1%	-1	-1
ブラジル	1%	=	-2
英国	1%	=	=
アルゼンチン	1%	=	=
米国	1%	=	-2
カナダ	1%	-1	+1
スウェーデン	1%	=	+1
スペイン	1%	=	-1
イタリア	1%	=	=
ペルー	1%	=	-1
コロンビア	1%	=	=
イスラエル	1%	-1	+1
ドイツ	1%	+1	=
フランス	0%	=	-2
チリ	0%	-1	-2
南アフリカ	0%	-2	-2
オランダ	0%	-1	=

# 経済フォーカス

# 自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、  
**Emilios.Louca@ipsos.com**  
までお問い合わせください。

# 現在の経済状況

イラン情勢は、引き続き世界各国に影響を及ぼしています。先月、30か国において自国の経済状況を「良い」と捉える人の割合は、4ポイント低下して36%となりました。今月は37%へとわずかに上昇したものの、戦前の水準に戻るには至っていません。

韓国はこの傾向に逆行しているようで、自国の経済に楽観的な見方を示す割合は先月から12ポイント上昇し、37%となりました。これは、半導体需要に支えられ、[同国の第1四半期のGDP成長率が6年ぶりの高水準を記録したことを受けたもの](#)です。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。

# 37%

(30か国平均)が、自国の経済状況を「良い」と考えています。

## 経済を最も懸念している上位国:

- フランス(89%が「悪い」状態だと回答)
- 日本(86%)
- 英国(79%)
- ドイツ(78%)
- ハンガリー(76%)

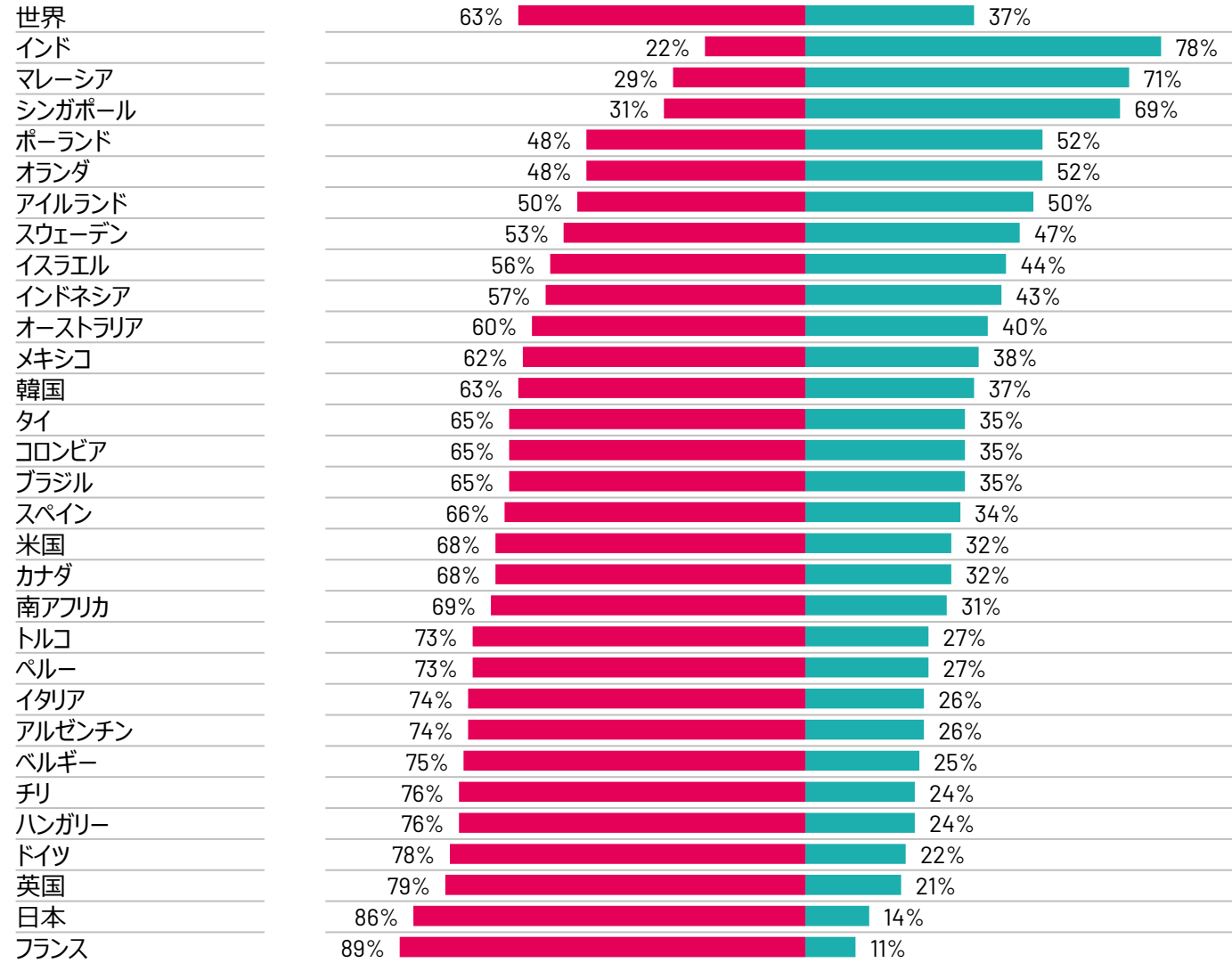
# 現在の経済状況

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

## 国

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い



前月からの変化	12か月間の変化
+1	+1
=	NA
+2	+2
-1	-2
+2	+7
-3	=
+4	-4
+2	+5
-5	+12
+2	-6
+3	-1
+1	-5
+12	+29
+6	-5
-12	+10
+4	+5
-1	-8
=	-3
=	-3
-2	-4
+2	+3
-1	+9
=	-3
-1	-7
-3	-7
-1	-9
=	+6
=	-9
+4	-7
=	+7
+4	-5



# 現在の経済状況

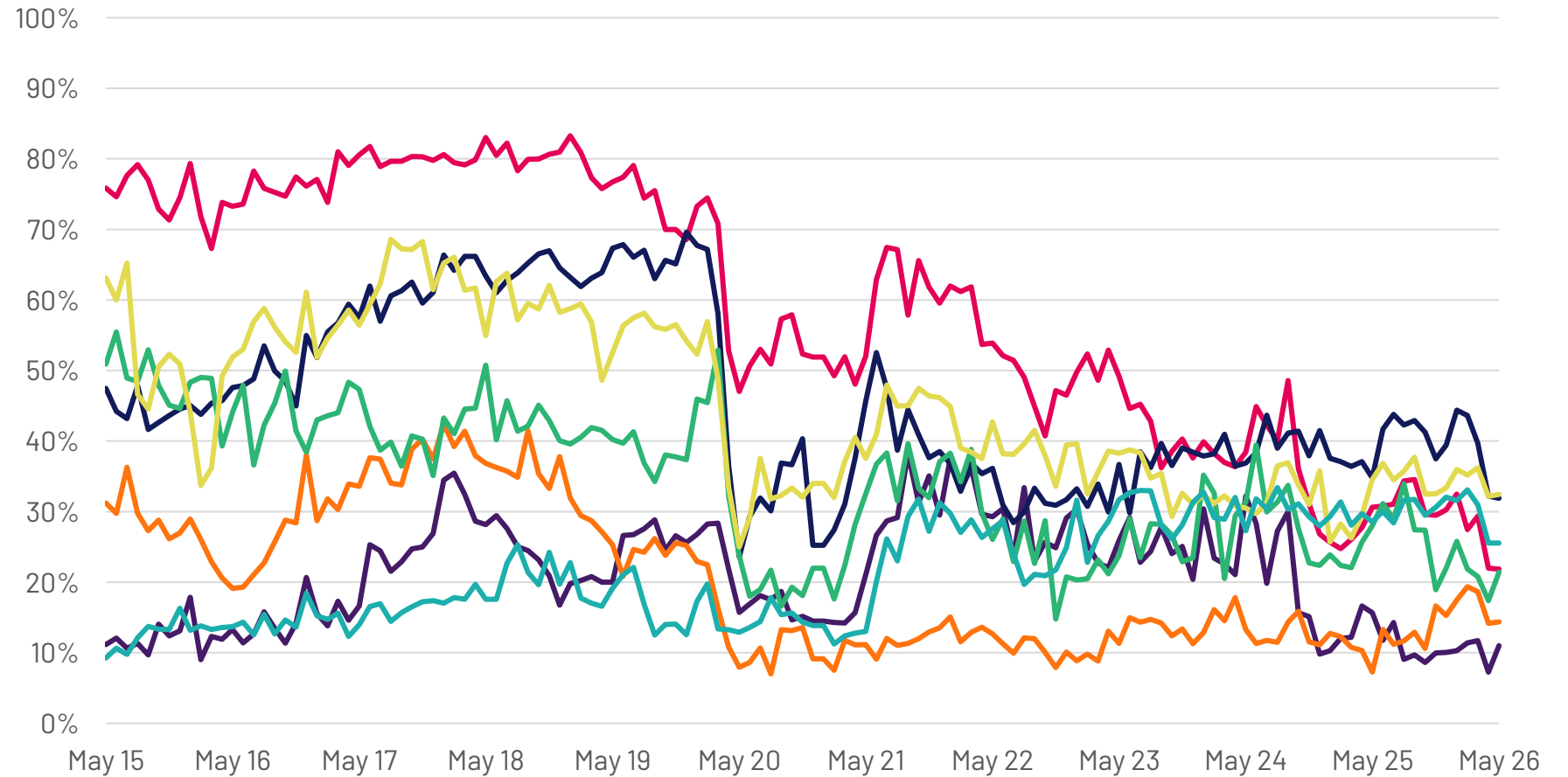
G7

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



フランス

米国

イタリア

カナダ

日本

ドイツ

英国

# 現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

先月の急落後、悲観的な見方は32%で安定しています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダは現在、米国と並んで32%となっています。これは2025年5月以来のことで、当時は両国とも35%でした。

**対象:** 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

**出典:** Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。**フィルタ:** 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリアは、先月の急落後も26%のままです。これは2023年10月(同26%)以来の最低水準です。

**対象:** 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

**出典:** Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。**フィルタ:** 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツも先月の急落後、状況は安定しています。ただし、22%という数値は過去10年間で最も低い水準です。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

英国は、前月比で4ポイント上昇し21%となった、G7諸国の中で数少ない国の一つです。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本がわずかながらも楽観的な兆しを感じ始めた矢先、4月のスコアはその期待を打ち砕きました。今月も14%にとどまっています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

## フランス

%「とても良い」または「やや良い」

英国と同様、フランスも先月の低下から4ポイント回復しましたが、11%にとどまっています。

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

アルゼンチン

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

オーストラリア

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

ベルギー

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

ブラジル

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

チリ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

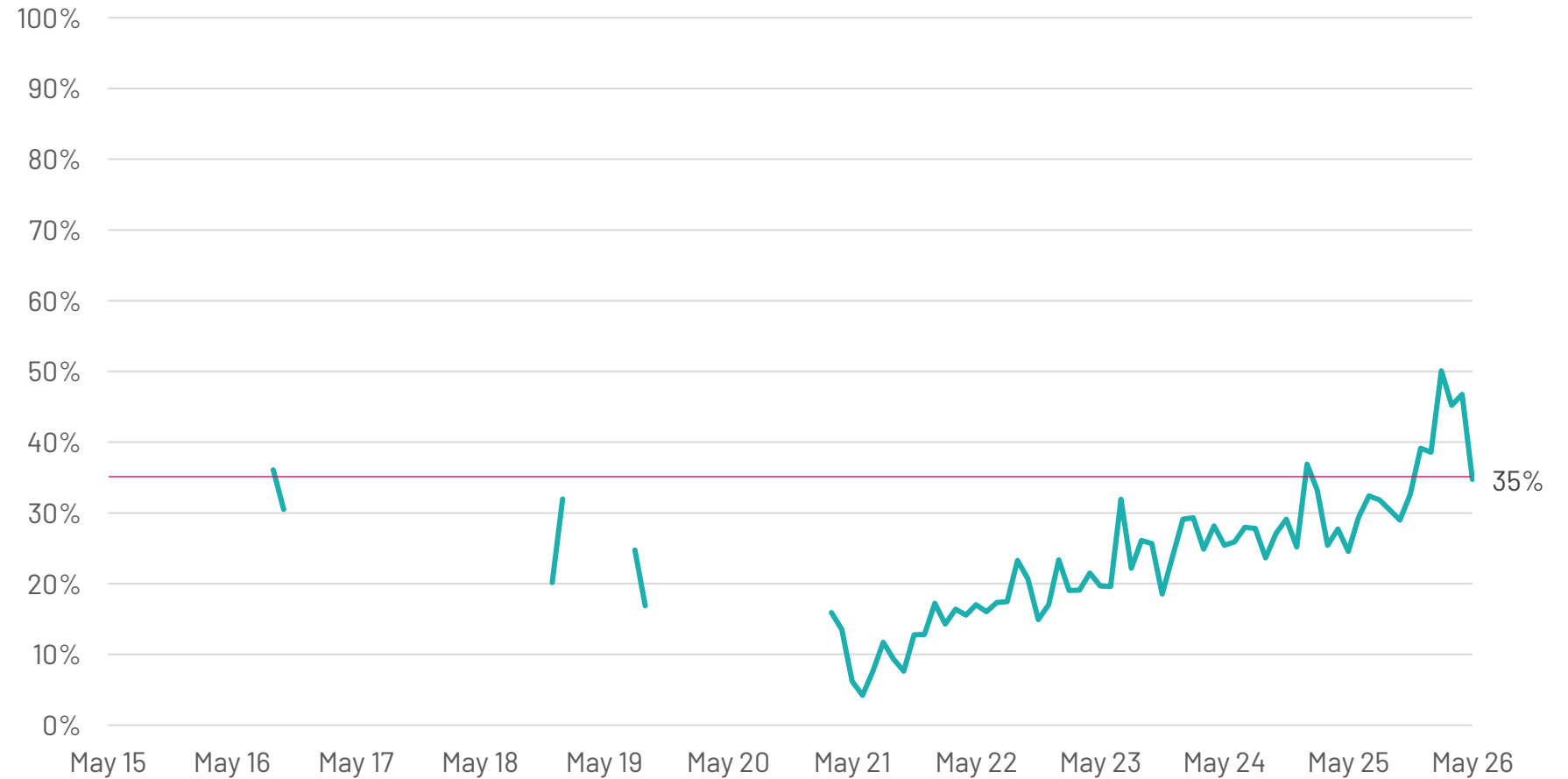
コロンビア

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

ハンガリー

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

インド  
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

インドネシア

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

アイルランド

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

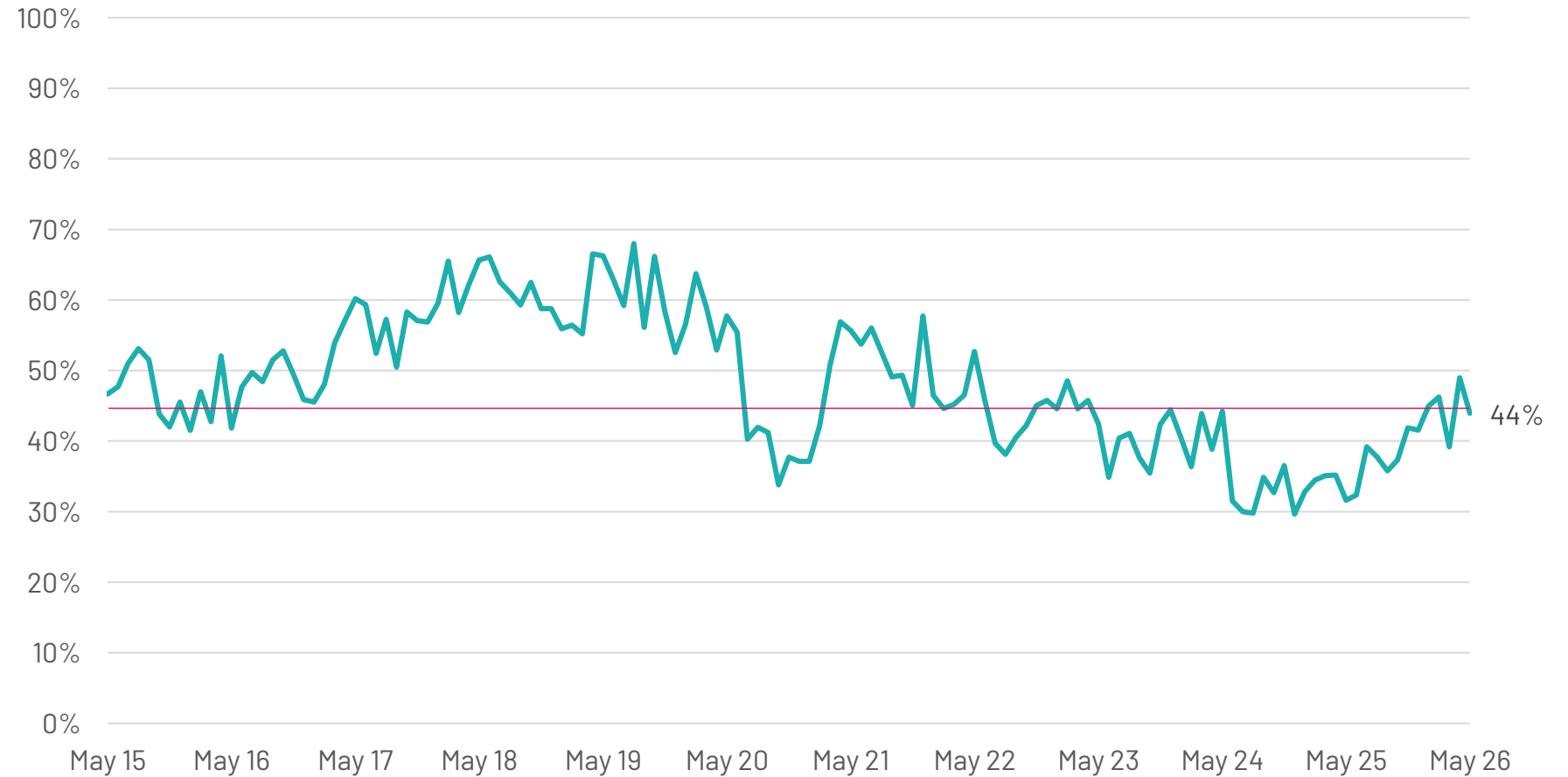
イスラエル

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

マレーシア

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

メキシコ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

オランダ  
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした  
代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界  
各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィル  
タ: 国: 世界|今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

ペルー

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

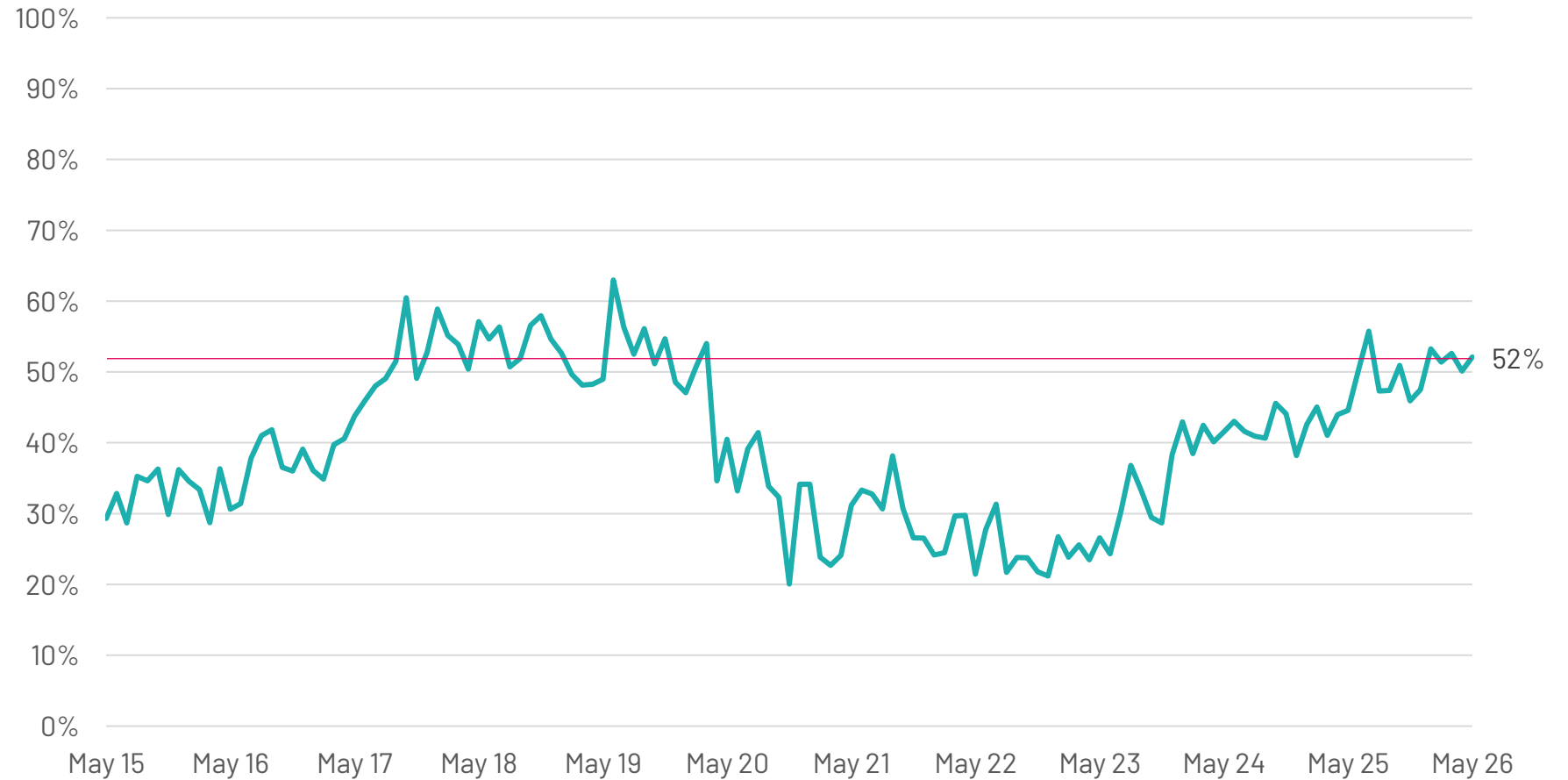
ポーランド

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

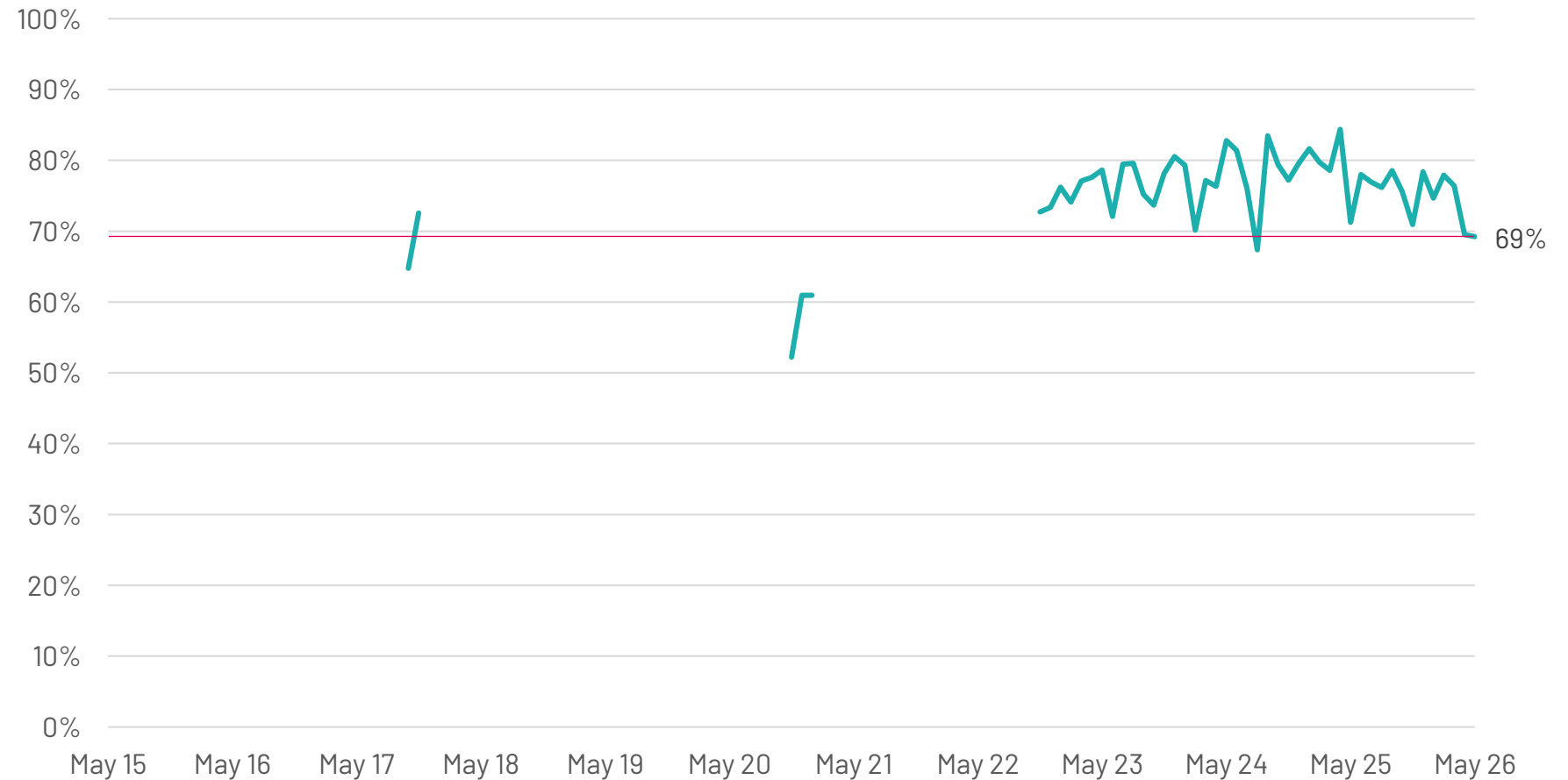
シンガポール

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

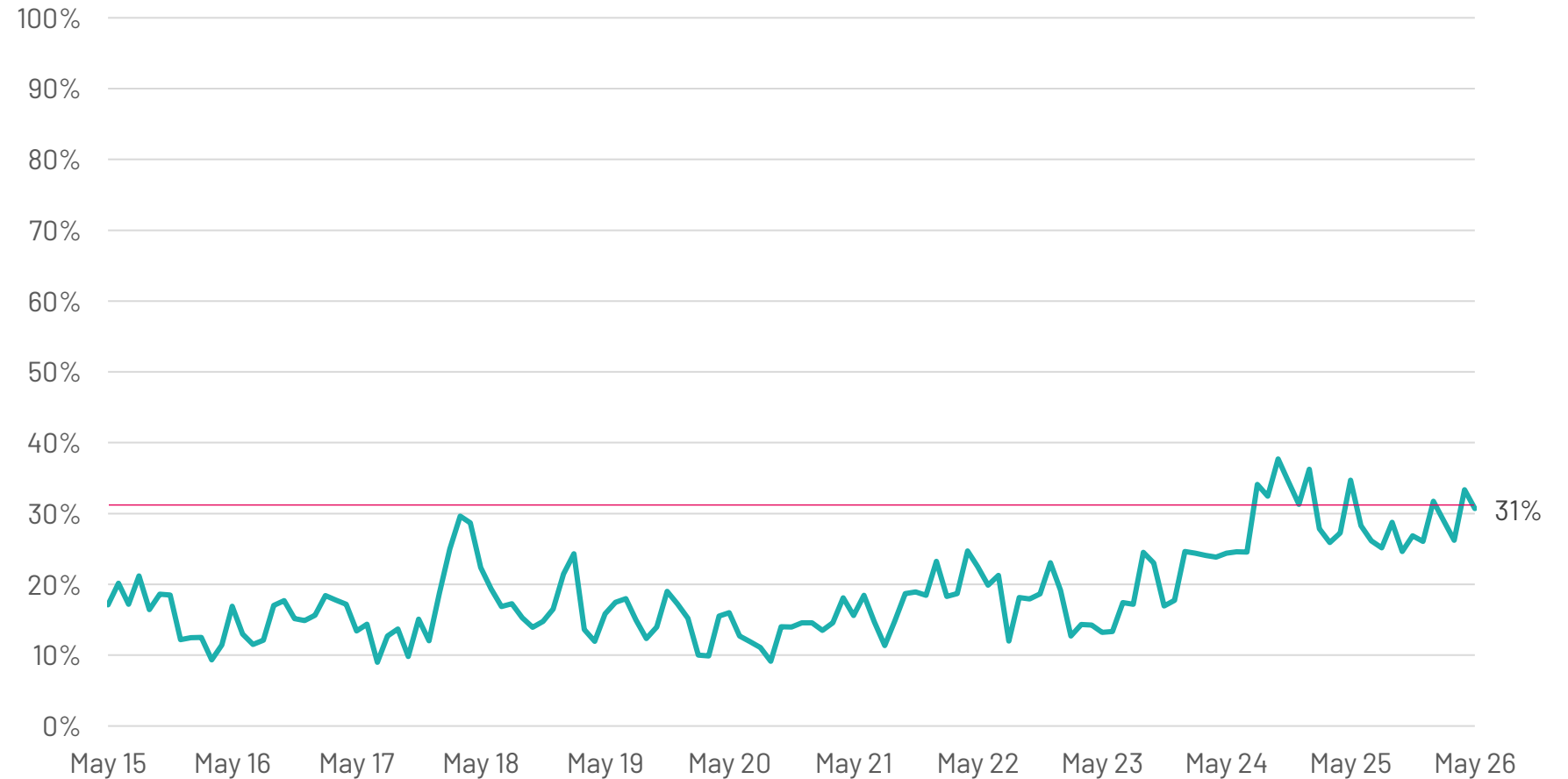
南アフリカ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

スペイン

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

スウェーデン

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

タイ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 現在の経済状況

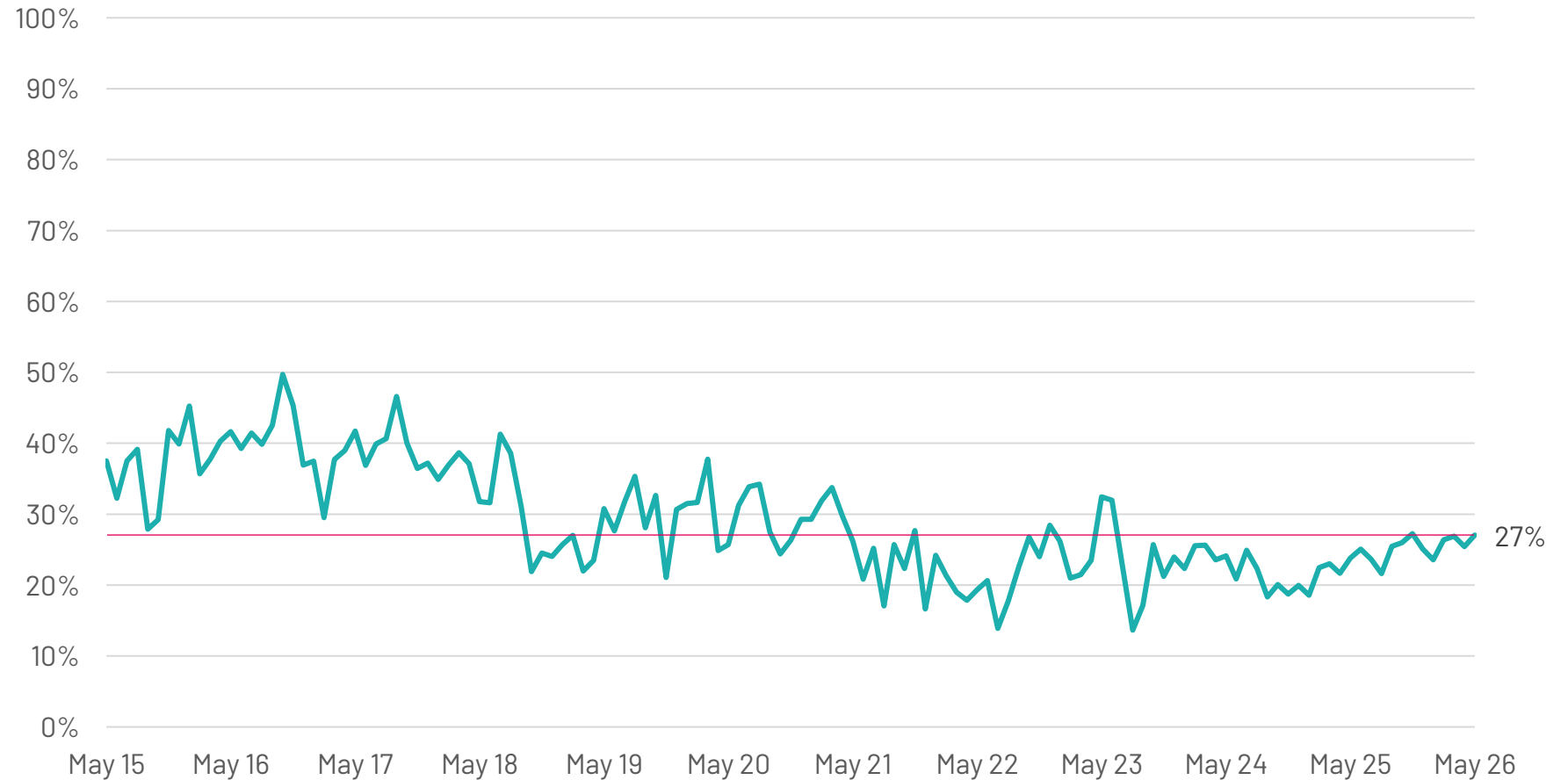
トルコ

%「とても良い」または「やや良い」

対象: 参加30か国の16~74歳の23,523名を対象とした代表的なサンプル(2026年4月24日~2026年5月8日)

出典: Ipsos Global Advisor。グローバルスコアは世界各国平均です。詳細は調査手法をご覧ください。フィルタ: 国: 世界 | 今回の調査ウェブ: 2026年5月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



# 調査手法

これは、2026年4月24日から2026年5月8日にかけて、イプソスが自社のオンラインプラットフォーム「Global Advisor」を用いて30か国で実施した調査の結果です。本調査において、イプソスはインドでは18歳以上の成人500名、カナダ、アイルランド共和国、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、および米国では18～74歳、タイでは20～74歳、インドネシアとシンガポールでは21～74歳、その他のすべての国では16～74歳の対象者を対象にインタビューを行いました。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、インド、イタリア、日本、オランダ、スペイン、米国ではそれぞれ約1,000名、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、アイルランド、イスラエル、マレーシア、メキシコ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、タイ、トルコではそれぞれ500名で構成されています。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、および米国のサンプルは、75歳未満の一般成人

人口を代表するものとみなすことができます。ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、アイルランド、イスラエル、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて都市部に居住し、教育水準が高く、および/または経済的に裕福な層が占めています。これらの国々の調査結果は、その人口の中でよりネットに精通した層の意見を反映したものと捉える必要があります。

データは、各国のサンプル構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の人口統計的プロフィールを最もよく反映するよう加重処理されています。「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国および市場における平均結果を反映しています。これは、各国または各市場の人口規模に合わせて調整されたものではなく、全体の結果を示すことを意図したものではありません。

合計が100%にならない場合や、「差」が実際の結果より±1パーセントポイント多く/少なく見える場合、これは四捨五入、複数回答、または「わからない」や回答なしの回答が除外されたことが原因である可能性があります。

イプソスのオンライン調査の精度は信頼区間を用いて算出されており、サンプル数(N)が1,000の調査では±3.5パーセントポイント、N=500の調査では±5.0パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。



# THANK YOU

**CONTACT:**

[Joseph.Nadler@ipsos.com](mailto:Joseph.Nadler@ipsos.com)

**VISIT:**

[www.ipsos.com/ja-jp](http://www.ipsos.com/ja-jp)